

コース名		科目名			対象学年			
臨床医学		リハビリ			4			
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
1 学期		花山 耕三		平岡 崇, 目谷 浩通		無		
授業到達目標								
1. リハビリテーションの職種とその役割、具体的な治療法を理解し、チーム医療の重要性を説明することができる。 2. 疾患と障害との関係を理解し、各障害の診断と機能評価について医療職に指導することができる。 3. 疾患別に急性期・回復期のリハビリテーションの概要を説明することができる。 4. 生活期のリハビリテーションと介護のあり方、地域医療、保健福祉の法律について討議することができる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/ 2	火	3	講義	阿部泰	リハ	介護保険と生活期リハビリテーション	B-1-6)-2, B-1-7)-3 F-2-14)-3, F-2-15)-7
2	4/ 5	金	5	講義	花山	リハ	リハビリテーションの理念とチーム医療	F-2-14)-2
3	4/ 5	金	6	講義	花山	リハ	国際障害分類と障害の機能評価	F-2-14)-4, F-2-14)-5
4	4/12	金	1	講義	山本	リハ	廃用症候群	F-2-14)-1
5	4/12	金	2	講義	目谷	リハ	歩行の評価と異常歩行	D-2-3)-(2)-1
6	4/17	水	4	講義	平岡	リハ	理学療法（運動療法・物理療法）	F-2-14)-6
7	4/17	水	5	講義	平岡	リハ	作業療法・言語聴覚療法	F-2-14)-6
8	4/18	木	3	講義	阿部泰	リハ	骨関節疾患のリハビリテーション	D-4-4)-(1)-15
9	4/26	金	3	講義	新井	リハ	小児発達とリハビリテーション	E-7-3)-1
10	4/26	金	4	講義	杉山岳	リハ	脳性麻痺・二分脊椎のリハビリテーション	D-2-4)-(9)-1
11	5/14	火	3	講義	関	リハ	義肢と装具療法	F-2-14)-7
12	5/14	火	4	講義	平岡	リハ	摂食嚥下障害のリハビリテーション	D-14-3)-(2)-2
13	5/22	水	5	講義	阿部泰	リハ	膠原病のリハビリテーション	D-4-4)-(1)-15
14	5/22	水	6	講義	阿部泰	リハ	悪性腫瘍・熱傷のリハビリテーション	E-3-3)-6, E-3-3)-7
15	5/27	月	1	講義	目谷	リハ	脳卒中急性期のリハビリテーション（病態）	D-2-4)-(1)-2
16	5/27	月	2	講義	目谷	リハ	脳卒中急性期のリハビリテーション（症状）	D-2-4)-(1)-2
17	5/31	金	5	講義	関	リハ	神経筋疾患の電気診断とリハビリテーション（主な疾患とリハビリテーション）	D-2-4)-(2)-3, D-2-4)-(2)-4 D-2-4)-(2)-5
18	5/31	金	6	講義	関	リハ	神経筋疾患の電気診断とリハビリテーション（電気診断について）	F-2-3)-12
19	6/ 3	月	6	講義	関	リハ	脳卒中の回復期リハビリテーション（概要）	D-2-4)-(1)-2
20	6/ 3	月	7	講義	関	リハ	脳卒中の回復期リハビリテーション（評価と治療）	D-2-4)-(1)-2
21	6/17	月	3	講義	目谷	リハ	脊髄損傷の疫学・病態生理・評価	D-4-4)-(1)-10
22	6/17	月	4	講義	目谷	リハ	脊髄損傷の合併症とリハビリテーション	D-4-4)-(1)-10
23	6/21	金	3	講義	花山	リハ	呼吸器疾患とリハビリテーション	D-6-4)-(3)-2
24	6/21	金	4	講義	花山	リハ	循環器疾患のリハビリテーション	D-5-4)-(2)-6

25	6/25	火	3	講義	平岡	リハ	脳血管障害による高次脳機能障害	D-2-4)-(1)-2
26	6/25	火	4	講義	平岡	リハ	脳外傷・その他の原因による高次脳機能障害	D-2-4)-(4)-3
27	6/28	金	2	講義	山本	リハ	加齢に伴う生体の変化	E-8-1)-3, E-8-1)-4 E-8-1)-7, E-8-1)-10
評価方法								
[期末試験]100% (筆記試験) [出席状況 (受講態度)] (出席状況、受講態度は減点の対象とします。) [評価方法] 多肢選択試験、論述・記述試験、出席・受講態度評価								
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて								
(特になし)								
教科書								
ISBN-9784787811608, PT・OT・ST・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論—要点整理と用語解説, 椿原 彰夫, 診断と治療社, 2007/04								
参考書								
ISBN-9784307750523, 現代リハビリテーション医学, 椿原彰夫 [ほか] 編集, 金原出版, 2017 ISBN-9784260013949, 標準リハビリテーション医学, 伊藤利之 [ほか] 編集, 医学書院, 2012 ISBN-9784263217306, 最新リハビリテーション医学, 安保雅博, 上月正博, 芳賀信彦編集, 医歯薬出版, 2016								
準備学習 (予習・復習等)								
予習: 指定教科書の該当部分を通読しておくこと。 復習: 講義当日の配布資料を復習し、不明点については参考書等で確認すること。 各講義につき、予習 30 分、復習 60 分を当てるのが望ましい。								
講義についての注意事項								
講義中に質問があれば、積極的に発言してください。								
昨年度からの変更点・改善項目								
参考書を追加しました。 双方向性授業を試みたいと考えています。								
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について								
本科目の後に学ぶ症候論や臨床病態論の他、臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医科学を理解する。								
ナンバリング								
DLRM406								